

中間評価（ステージゲート審査）結果

1. 研究課題名： 光により操作可能な生命現象の拡張と光遺伝学 2.0 の創出
2. 研究代表者： 加藤 英明（東京大学 大学院総合文化研究科 准教授）
3. 中間評価（ステージゲート審査）コメント

本課題は、新規の分子機能を有するロドプシンの探索と光照射後の反応中間体構造解析を可能にする新規手法の開発及び実践を組み合わせることで革新的な光遺伝学ツールを創出することを目指している。フェーズ1では新規の融合型ロドプシン及びイオンチャネル型ロドプシンの同定、構造決定、機能解析を行い、新規の光遺伝学ツールの開発に成功するなど、研究は良好に進捗している。フェーズ2では、応用も視野に入れた光遺伝学ツールの改良と拡張などに取り組むことで、光遺伝学におけるブレークスルーをもたらすことを期待する。

以上